

令和2年度 釧路教育研究センター 運営審議会

日 時：令和2年7月20日（月）16：00～17：00

場 所：釧路教育研究センター 3F第1研修室

出席者：別添 運営審議会座席表のとおり

関係資料：資料1 令和元年度事業報告

資料2 令和2年度事業計画

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長挨拶

4 議事

(1) 令和元年度事業報告

○事務局より、資料1を使用し、説明。

(2) 令和2年度事業計画

○事務局より、資料2を使用し、説明。

(3) その他

【以下、質疑応答】

◇委員

・昨年度「情報モラル」の研修講座の参加人数が少ないのはなぜか？

◆事務局

・講座の開催時期によるものと考えている。

◇委員

・「情報モラル」は、年齢問わず大切なものである。何らかの形で研修機会を設けていただけるとありがたい。

◇委員

・研修講座はどのように周知されているのか？

◆事務局

・各校には、メール、釧路教育研究センターのHP等で周知、案内している。

◇委員

・研修講座には、保護者も参加できるのか？

◆事務局

・2月に行われる予定の教育講演会については、保護者の方にも呼びかけ、多数参加いただいている

が、そのほかの研修講座については、保護者の参加を想定していなかった。良いご意見をいただいたので、今後、保護者が参加できる講座が設定できないか検討していきたい。

◇委員

- ・オンラインを用いた研修講座を予定しているという話だが、オン・デマンドの利用も考えてみてはどうか？

◆事務局

- ・著作権の問題等があり、難しい面があると考えている。

◇委員

- ・今回のG I G Aの予算で各家庭の通信環境が整っていくのか？

◆事務局

- ・G I G Aの取組は、学校の通信環境を整えていくものである。通信環境が整っていない家庭の子供たちのために、児童館などの社会教育施設のw i f i環境を整え、そこに子供たちが集まってタブレットを使用するという学び合いの形も想定している。

◇委員

- ・G I G Aでは、児童生徒一人一台、パソコンが使用できるのか？

◆事務局

- ・タブレットの使用である。

◇委員

- ・「オンラインでの授業」という言葉をよく聞くが、オンライン授業はどのようなイメージなのか？

◆事務局

- ・モニターに子供たちの顔をリアルタイムで映し出して、教師と子供たちが双方向でやり取りしながら授業を進めていくものである。

◆事務局

- ・オンライン授業は、子供だけで機器を使用できない小学校低学年をどうするのか等、課題もまだまだたくさんあると考えている。

◇委員

- ・大学では既にオンラインでの講義を行っているが、大学生でも家で、一人で学びを進めていくことの難しさを強く感じている。先程、施設に集まって学び合う形をイメージしているという話があったが、ぜひ検討して進めていただければと思う。

5 閉会